

FY2022 2Q (2022年3月期 第2四半期) 決算説明会 Q&A

●第1回：2021年10月28日 (Q1~Q12)

●第2回：2021年11月26日 (Q13~Q18)

第1回 2021年10月28日 (Q1~Q12)		
Q1	SPE	顧客が既に発表している投資計画を考えると、来期もさらに売上の上積みが見込めるが、S ³ -3の現状の能力とFT設備の転用でどれぐらいの目線か？また、新規の製造能力はこういったタイミングで、どれぐらいの規模感になるのか？
A1		<ul style="list-style-type: none"> ・引合いは非常に強く、3Q~4QとS³-3をフルキャパにもってゆき、SPE連結で3,300億円を視野に入れている。現在、数字を精査中ではあるが、FTの設備転用でも1割はいかないがアップすると考えている。 ・(増産に向けての)新規投資計画も来期以降の見立てになるので、現在慎重に議論中。SPE売上は4,000億円を超える目線で検討。3Q終わり頃には皆様にお伝えしたい。
Q2	SPE	SPIEでの発表資料によれば、今後洗浄のステップ数減少が心配。M0、V1、V2でHi-NAに置き換わっていくとすると、各レイヤーでどれぐらい洗浄が使われると考えるか？また、クアッドパターニング、ブロックプロセスなどではどれぐらい洗浄が使われるのか？GAAなどでは洗浄が増えるプロセスはあるのか？
A2		<ul style="list-style-type: none"> ・M0、V1などは、弊社でマーケットシェアをとれていない領域であると認識している。EUVの導入によってステップ数が減ると言われているが、裏面洗浄、ベベル洗浄などの機会を考えるとそれほど減らないと見ている。実際最先端の投資では当社の洗浄セットは減っていない。 ・クアッドパターニングではエッチャーが8回あればその後4回洗浄があると認識。但し洗浄はエッチャーより高スループットなので、必要な台数は同じではないと考える。
Q3	SPE	2Q売上は予想からフラットで、営業利益が上振れた理由は？また、利益率は高いが、利益率の今後の維持について確信を高められた理由は？
A3		<ul style="list-style-type: none"> ・顧客ミックスによりS³-3がフル稼働し、コストメリット(利益増)に寄与した。また、2Qは固定費が十分使えておらず、これを下期で使っていきたいと考えており、下期はそれが収益性(押し下げ)に影響があると想定。 ・SPEの収益改善については、S³-3を3~4Qで100%フル稼働にもっていくので、想定した変動費の刈り取りは、今の施策で出てくる。SPE下期の営業利益率は18%程度だが、その水準を今後も継続していきたい。来期は(SPEの)不採算事業の立て直しの成果も徐々に出てくると見ており、さらに1、2ポイント上げていきたい。
Q4	SPE	1Q説明会では、来年1~3月期の(顧客の)投資(受注の詳細)がまだ見えていなかったのが控え目であったと思うが、今回上方修正という事で見通しが出てきたと考える。実際どのように見えているか、特にメモリーの投資意欲について解説をいただきたい。
A4		<ul style="list-style-type: none"> ・3Q受注は2Q受注がかなり上振れたので、2Qより若干落ちるぐらいであろう。メモリーはDRAM、NANDとも3Qでは受注が増えると考えており、他が下がるのを補うだろう。

		・4Q はスロットティングが進んでいるが、やはり台湾ファウンドリーが多いと想定。メモリーよりファウンドリーが強くと見ている。
Q5	SPE	前回決算では、CY2022 の WFE は5%伸びると言われていたが、御社の顧客構成を考えると、市場平均を超える成長もあるのではないかと？
A5		・各社の投資動向を見ていると強い印象であるが、投資されるタイミングが少し後ろにずれるような話もあり、その意味で 2022 年か 2023 年の (いずれが) 強いかなど (はまだわかりにくい)、最終 (お客様が) 投資をするタイミングによるだろう。 ・韓国のお客様も投資増額されるようだが、弊社はその部分のエクスポージャーが低いという状況があるため、どのような影響があるかの見極めには、もう少し時間が必要。
Q6	SPE	来年再来年と市場が伸びるのであれば、トップラインが増えればオーガニックに利益率は 20% くらいに伸びるのでは？それとも、経費が増える要因もあり単純に計算すべきではない？
A6		・現在、来期の投資計画を精査検討中。その結果によっては減価償却費が増えることもあるし、人員も増員しないと対応できない状況もあるため、リニアに売上が伸びれば利益も伸びる、というわけにはいかないと考える。 ・来期の設備投資計画については今後も精査を続け、伝えられるタイミングで皆様にお伝えしたい。
Q7	SPE	下期 3Q、4Q 売上の方向感？アプリケーション別でも聞かせてほしい。
A7		・3Q 売上はファウンドリーメインになると考えており、2Q とほぼ同じ比率。売上は 2Q と大きく変わらない想定なので、45% 程度をファウンドリーが占める構成。若干 NAND が減って画像素子が増えるかという程度。 ・4Q に関してファウンドリーが強い状況に変わりないだろう。
Q8	SPE	設備投資は、S ³ -3 のような自動化工場か、従来タイプか？来期投資に向けた方向感？投資額はどうか？
A8		・S ³ -3 のような自動化工場は考えていない。ボトルネックは別にあるので、そこを補強するような投資になる。 ・先述のとおり、投資額は現在精査中にて、お待ちいただきたい。
Q9	SPE	SPE 売上 4,000 億円をにらんだ設備投資では、営業利益率 20% くらいをターゲットになるのか？
A9		その営業利益率はもともと中計で設定していた目線なので、それを上回るようにしたいと考えている。設備投資、人員増などを詳細は精査中だが、20% は下らない形で設定していきたい。
Q10	SPE	ワーキングキャピタルを使わない会社になってきているが、売上債権は半期にならずと何か月分くらいまで短くしたいか？今後どの程度まで改善をしたいか？
A10		・足元の CCC (キャッシュコンバージョンサイクル) では 80~70 日に短縮している。 ・今後は部材不足の影響で在庫積み増しもあるので、基本はこの状態の維持を目指す。売掛債権は大手のお客様ではこれ以上の改善は難しいが、新規のお客様では前受金を多くいただくなどの方針が実を結んでいる。生産スロットの割り当ても PO 受領前提を営業現場がしっかりやってくれており、簡単には (この状況は) 崩れないだろう。
Q11	SPE	リードタイム (LT) について、後工程メーカーでは調達が難しいので顧客が早めに発注を出すような動きがあるが、御社でもあるか？

A11		<ul style="list-style-type: none"> ・製造 LT は若干長めになってきている。納期が厳しいものは先行的に出して調達するなど働きかけているが、それが全体に占める比率はそれほど大きくないので、今のところ LT に大きな影響はない。顧客側でもスロットリング期間を長く設定して頂いている。 ・LT は通常 4 か月程度のところが 5 か月ぐらい。PO を早目にくださるお客様もいるが、受注処理は生産リードタイムに合わせ処理を行っている。
Q12	SPE	パワー半導体について、1Q から構成比率を（プレゼンに）出しているが、NAND などと比較しても大きくなってきている。他社と比べて強みはあるのか？
A12		<ul style="list-style-type: none"> ・随分前に（社内に）フロンティア（という）プロジェクトを立ち上げ、パワー半導体のお客様と密接に繋がりを持ってきた強みがあると考えている。今後もこの領域をウォッチングしていただく意味もあり、割合を開示した。 ・但し、半導体は（ひとたび）投資すると一気に需給バランスの調整が入るので、今後若干落ちる可能性もあるが、300mm化の流れもあり一定規模は期待できると考える。
第 2 回 2021 年 11 月 26 日 (Q13~Q18)		
Q13	GA	受注も回復、業績予想も上方修正されたが内容を説明頂きたい。
A13		<ul style="list-style-type: none"> ・四半期 100 億円超えの受注が継続するなど、欧米で POD 需要が回復。インクビジネス中心にリカーリングビジネスも堅調である。 ・従前の主軸製品であった CTP の売上比率は 15%前後で推移しており、このあたりで底を打ち、今後は同レベルで安定推移すると見ている。
Q14	GA	今後の見通しはどうか？
A14		下期、部材不足による売上スライドおよび運搬費高騰リスクはあるも、前期比増収増益を達成予定。
Q15	FT	2Q 受注の中味、および 3Q の受注予想は？
A15		<ul style="list-style-type: none"> ・2Q は中国、台湾の G8 サイズの LCD 追加投資案件を受注した。 ・3Q 受注は、中小型 OLED 中心に 2 桁億円後半を見込む。
Q16	FT	来期に向けての業績見通しは？
A16		このセグメントはリードタイムが 8 カ月～1 年超えと長く、足元の受注は来期の売上構成となる見込み。現状の受注残高を鑑み、来期売上は今期と同程度のイメージを持っている。利益はミックス改善により若干上向きイメージだろう。
Q17	PE	2Q は営業利益率 20%以上、通期予想も 15%程度に上方修正した背景は？
A17		<ul style="list-style-type: none"> ・2 期前に要素開発を HD に移管しており、利益は出やすい体質になっている。 ・ポストセールスも高位安定しており、利益貢献している。
Q18	PE	市場環境も良好のようだが、下期の見込みはどうか？
A18		5G 向けおよびパッケージ向けの引き合いが活況で、需要を確りと取り込んでいる。下期は部材（半導体）不足のリスクはあるも、上方修正した予想計画の達成を目指す。

HD: ホールディングス、SPE: 半導体製造装置事業、GA: グラフィックアーツ機器事業、
FT: ディスプレー製造装置および成膜装置事業、PE: プリント基板関連機器事業